

琴浦「熱中小」 活性化策発表

プラチナ大賞
最終審査会
東京

社会の課題解決に向けた
取り組みに贈るプラチナ大
賞の最終審査会が5日、東
京都内であり、琴浦町など
全国15カ所にある大人の社
会塾「熱中小学校」が発案
した郵便の風景印を使った



審査会で取り組みを発表
する堀田代表理事。5
日、東京都千代田区のイ
ノホール

地域活性化策などを関係者
が発表した。

一次審査で絞り込まれた
13事例を審査。このうち風
景印の活性化策は、各地の
熱中小学校を運営する熱中
学園の堀田一英代表理事が
発表した。

堀田代表理事は、琴浦町に
ある以西郵便局で町内の船
上山や後醍醐天皇の姿など
をデザインした風景印の使
用を始めたことなどを紹介。
別の地域では風景印にQR
コードを付加してスマート
フォンで地域情報を提供す
るツールにしていることを
説明し、「他の県にもネッ
トワークを広げ、地域をつ
なげていきたい」と訴えた。
審査の結果、熱中小学校
の取り組みは奨励賞となっ
た。
(中村宏)